

2025 年度 学校法人 三幸学園 大宮医療秘書専門学校

自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 丸山 政孝

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療現場で医療事務・診療情報管理を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え動ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

前年度重点施策振り返り

主体性・成長に重点を置き運営をしていった結果、授業アンケートを向上することができた。

新入生においてはハイフレックス授業やスタディサポート(時間割の中に教員に質問できる時間を入れ込む)を行うことで、勉強面・登校面に不安を抱える学生へのサポートができたことも影響があると考え

また、授業の満足度が向上することで、資格取得や成長実感に繋がっていると感じている。

また、三幸フェスティバルが首都圏と合同になったことで、様々な役割が増え、参加をするチャンスが多くなったことで、やってみてよかった、成長を感じている学生が増えた現状がある、

半面、目標喪失による退学者が増加したこと、またクラス担任への満足度が低下していることが課題となる為、2026 年度は施策を進めていき、学生 1 人 1 人の対応方法などを工夫していく必要がある。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

生徒に向けた教育理念や目指すべき職業人像については、入学時に実施したスタートアッププログラム（入学プログラム）以降、期の区切りの際に伝える機会があったものの、浸透していると言い切れない。

保護者に向けては、対面で入学前に保護者説明会を実施したものの、スクリレの活用等がしきれていない為、2026年度の課題として考えていく必要がある。

① 今後の改善方策

2026年度は全体像に合わせて、半期ごとのゴールを設定していき、進捗の確認や目線合わせの実施を行っていく。

② 特記事項

特になし

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	3
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

2025 年度からハイフレックス授業を導入し、オンデマンド授業の実施等、ICT 化に努めてはいるが、全教職員が実働できているわけではない為、課題が残っている。

また、人事・給与体制は整備されているものの、業務の進め方や時間管理に課題があり、改善が必要だと考える。スクルの導入はしたものの、頻度が少なく有効活用には至っていない。

② 今後の改善方策

教職員研修を ICT 関連にし、少しでも多くの教職員が WEB・IT に触れていけるような環境作りを強化していく。業務の進め方・時間管理については OJT 指導者を増員することで改善を図る。

③ 特記事項

特になし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

2025 年度の振り返りに記載した通り、担任教職員の力量が課題となっていたが、個に合ったサポートや対策までやりきることができなかった。2026 年度はサポート体制や研修体制を見直していく。

ただし全体で考えると、卒業生との座談会を実施したことで、教員としてのモチベーションが上がるような取り組みができた為、各アンケートの向上に繋がったとも考える。

② 今後の改善方策

毎週の会議の進め方を見直し、新任教職員のサポートができる環境を整えていく。

③ 特記事項

特になし

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格（免許）取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

退学率が上がってしまった現状がある為、2026 年に対策をしていく。

② 今後の改善方策

早い段階での面談を実施し、学生の状況をいち早く把握することで退学低減に繋げていく。

③ 特記事項

特になし

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

保護者との連携の為に、連絡ツール「スクリレ」を導入し、アプリ上で学校からの案内を見られるようにしたが、より良い活用ができず、保護者連携に課題が残る。

② 今後の改善方策

LMS 担当と教務担当にて連携し、発信頻度を上げていく施策を検討する。

③ 特記事項

特になし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

防災についてよりよくする上で、必要備品が精査しきれていなかった。

② 今後の改善方策

新たに備品を購入し、整備体制を強化していく。

③ 特記事項

特になし。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

既卒生募集に関しては課題がある為、再進学者が増加する取り組みを今後検討していく。

② 今後の改善方策

既卒者にとってより業界の魅力が伝わるよう広報活動に力を入れていく。

在校生の再進学者人数や、就職実績を可視化し通信教育では得られない就職サポートや資格取得実績を代々的にアピールしていく

③ 特記事項

特になし。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

なし

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

2025 年度は第3期中期経営計画(2023 年度～2027 年度)の 3 年目にあたり、東京未来大学及び小田原短期大学の中期計画改定を反映し、第3期中期経営計画＜第 2.0 版＞を策定し年度開始時より適用した。中期経営計画及びその進捗状況はホームページ上に公開している。

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

引き続き順守をしていく。

③ 特記事項

特になし。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

業界のみに限定してしまうと、課外活動数があまり多くないのが課題である。

② 今後の改善方策

業界内の活動のみならず、地域に愛される学校づくりを目指し、頂いたボランティア活動へは積極的に参加できるように準備しておく。

③ 特記事項

特になし。

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	4

① 課題

2025 年度から留学生の受け入れを本格的に開始し、試行錯誤しながらも、体制作りに力を入れてきた。学習成果の評価としての就職支援がこれからではあるが、引き続き注力をしていく。

② 今後の改善方策

同法人の国際事業部や日本語学校と連携を図りより良い運営を目指していく。

③ 特記事項

特になし。